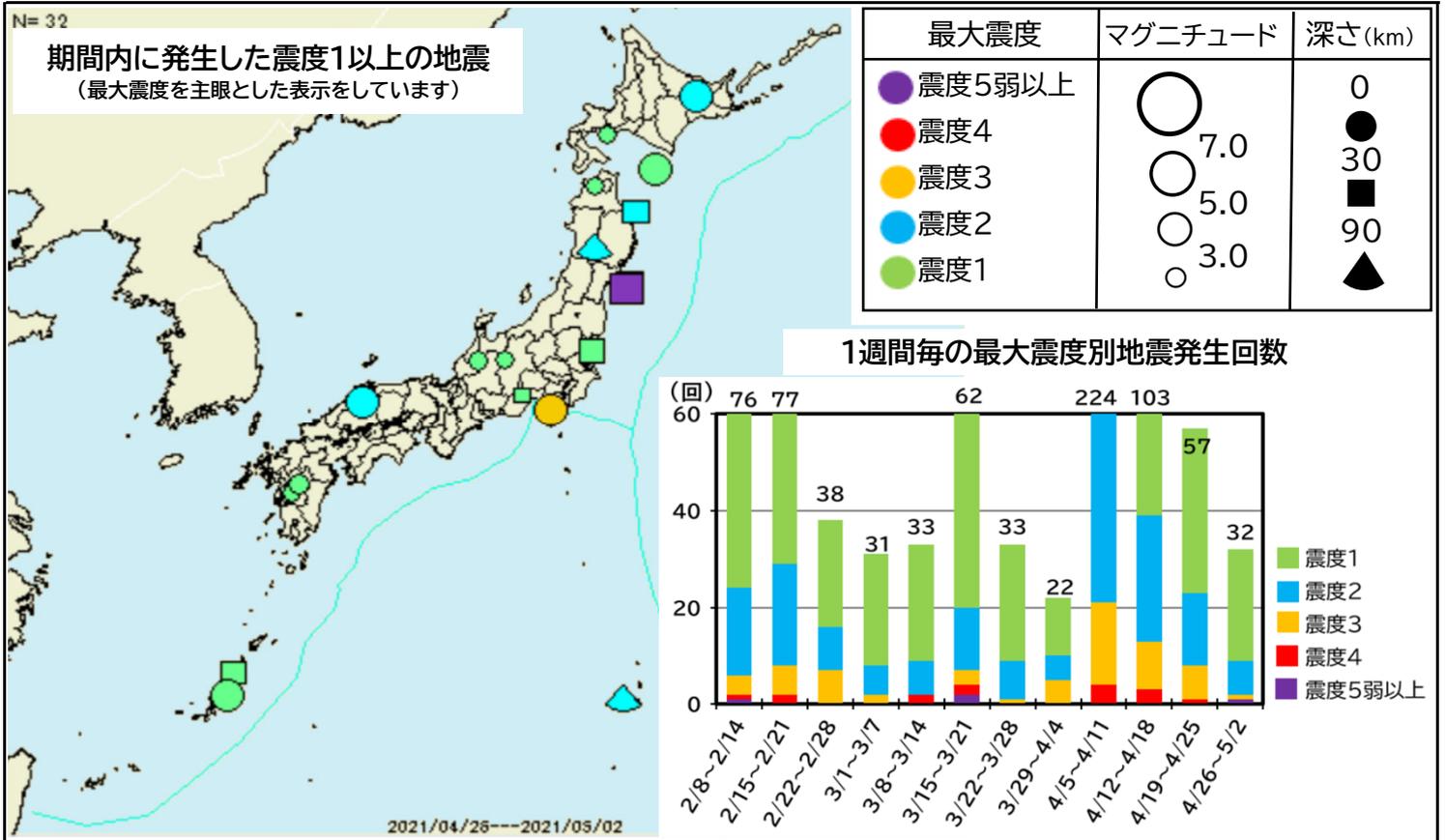


この期間の最大震度は5強(宮城県沖)

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況

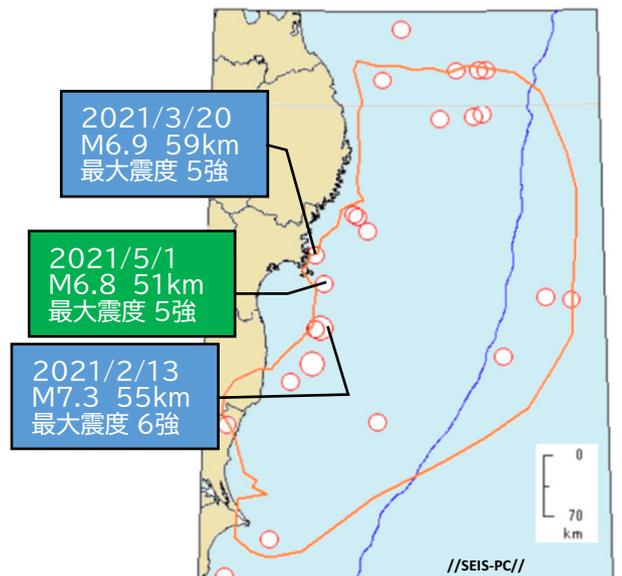
■ この期間、震度1以上の地震が32回発生。最大震度は5強(宮城県沖で発生) ■

- ・トカラ列島近海の地震などにより震度1以上の回数が多い期間が続いたが、今期間は平均的な回数に減少した。
- ・30日06時47分に伊豆大島近海で発生した地震(M3.1、深さ10km)により静岡県東伊豆町で震度3を観測。この地震はフィリピン海プレートの地殻内で発生した横ずれ断層型で、伊豆大島近海では21日から震度1以上の地震回数がやや多くなっている。
- ・1日10時27分に宮城県沖で発生した地震(M6.8、深さ51km)により、宮城県石巻市、大崎市、涌谷町で震度5強を観測した他、北海道から近畿地方にかけて震度5弱~1を観測。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した逆断層型(トピックス参照)。

トピックス

■ 宮城県沖の地震 ■

- ・1日10時27分に宮城県沖で発生した地震(M6.8、深さ51km、最大震度5強)は、3月20日に宮城県沖で発生した地震(M6.9、深さ59km、最大震度5強)の南南東に約35km離れた場所、2月13日に福島県沖で発生した地震(M7.3、深さ55km、最大震度6強)の北に約50km離れた場所で発生した(図参照)。
- ・今回の地震と3月20日の地震は、共に太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した逆断層型。一方、2月13日の地震は太平洋プレート内部で発生した逆断層型の地震。
- ・宮城県沖や福島県沖などの東北地方太平洋沖は、そもそも地震が起きやすい場所であり、10年前の東北地方太平洋沖地震の影響もあり、今後も今回と同様な地震が発生してもおかしくない。
- ・図は、2015/1/1~2021/5/1に発生したM6以上、深さ80km以浅の地震の震央分布図で、橙色の線で示した東北地方太平洋沖地震の"余震域"の周辺で主に発生している様子が見られる。



2015/1/1~2021/5/1の震央分布図。M \geq 6、深さ \leq 80km
橙線=東北地方太平洋沖地震発生から3カ月間に発生したM5以上の範囲。青線=日本海溝軸。